



平成26年12月31日
四国地方整備局道路部

「異例の降雪に対する国土交通省対策本部」における緊急発表

1. 異例の降雪に対する国土交通省対策本部からの緊急発表についてお知らせします。【別添1】

国土交通省HP : <http://www.mlit.go.jp/common/001065124.pdf>

2. 四国地方整備局が管理する国道にて、降雪の影響による通行止めのおそれがある区間をお知らせします。【別添2】

1日から3日ごろにかけ、北日本から西日本の日本海側、ところによっては太平洋側でも大雪が予想されています。お出かけの際には必ず、冬用のタイヤや、チェーン等の滑り止めを準備しましょう。なお、大雪により立ち往生した場合や、立ち往生した車両を見つけた場合も、道路緊急ダイヤル#9910（24時間受付・無料）までお知らせ下さい。

本施策は、四国圏広域地方計画「No.6 防災力向上プロジェクト」の取組に関連します。

お問い合わせ先

【別添1】・・・別紙参照

【別添2】 国土交通省 四国地方整備局 道路部 道路管理課 電話 087-811-8325(直通)

道路情報管理官 上林^{かみばやし} (内線)4114
道路管理課 課長補佐 渡辺^{わたなべ} (内線)4412

気象庁
同時発表平成26年12月31日
水管理・国土保全局防災課

「異例の降雪に対する国土交通省対策本部」における緊急発表

12月31日から1月3日頃にかけての暴風雪と大雪に備え、別紙のとおり、ドライバー等の皆様への呼びかけについてお知らせします。

【問い合わせ先】

(全般)

国土交通省水管理・国土保全局 防災課 災害対策室
災害対策調整官 吉岡 大藏 (内線 35762)
地震防災係長 飯島 直己 (内線 35835)

TEL 代表 03-5253-8111

直通 03-5253-8461

FAX 03-5253-1608

(道路に関すること)

国土交通省道路局 国道・防災課 道路防災対策室
企画専門官 淡中 泰雄 (内線 37812)

TEL 代表 03-5253-8111

直通 03-5253-8489

FAX 03-5253-1620

(気象に関すること)

気象庁 予報部 業務課

気象防災情報調整室長 梶原 靖司 (内線 3105)

TEL 代表 03-3212-8341

直通 03-3211-8302

FAX 03-3284-0180

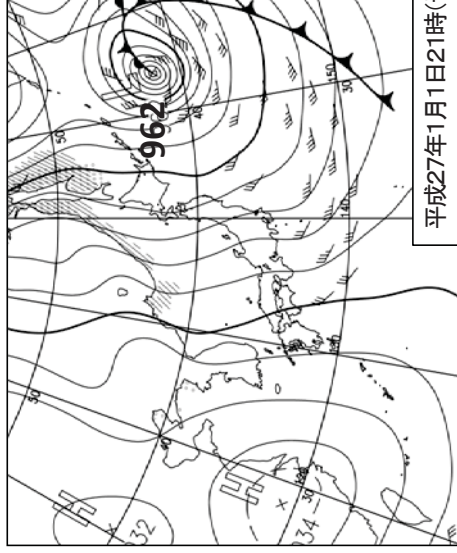
【国民への呼びかけ】

- 31日から1日にかけては、東北地方から西日本の沿岸部を中心に非常に強い風が吹き、日本海側では猛ふぶき、海上は大しけとなる見込みです。その後、1日から3日頃にかけては、北日本から西日本の日本海側を中心に大雪や猛ふぶきとなるおそれがあります。西日本の太平洋側や東海地方の平地でも積雪となる所がある見込みです。
- 暴風雪による吹きだまりや局地的な大雪により、道路において、視界不良による走行不能、積雪等による立ち往生が発生するおそれがあります。なだれや屋根等からの落雪、路面の凍結、着雪による停電や倒木による走行不能、積雪等による立ち往生が発生するおそれがあります。
- 過去の類似の気象条件では、平成22年12月31日から平成23年1月1日の大雪により、鳥取県の国道9号において、タンクローリーの立ち往生をきっかけに、約1,000台の車輛が立ち往生し身動きがとれなくなっています。
- **普段雪が降らない地域においても、突然の大雪による立ち往生等に警戒が必要です。**
- **不要不急の外出は避けていただくとともに、やむを得ず運転する場合には、冬用タイヤやチェーン等を早めに装着して下さい。**

【1. 今後の気象の見通し】

平成27年1月3日頃にかけての暴風雪と大雪

【気圧配置】



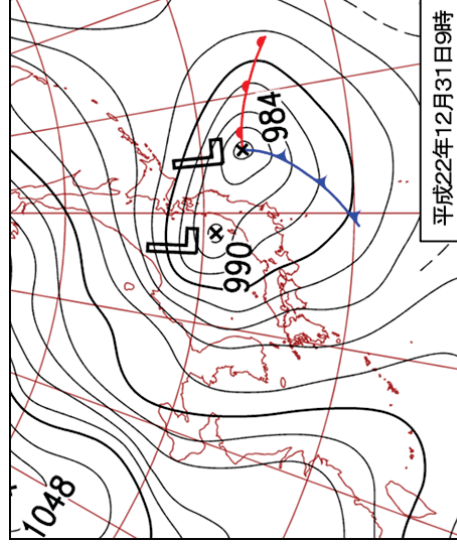
平成27年1月1日21時(予想)

【気象概況】

○ 31日は低気圧が日本海で急速に発達しながら東へ進み、その後、1月1日から3日頃にかけて、日本の上空に強い寒気が流れ込み、日本付近は強い冬の気圧配置となる見込み。
 ○ この影響により、31日から1日にかけて、東北地方から西日本の沿岸部を中心に非常に強い風が吹き、日本海側では猛ふぶき、海は大しけとなる見込み。その後、1日から3日頃にかけて、北日本から西日本の日本海側を中心に大雪や猛ふぶきとなり、西日本の太平洋側や東海地方の平地でも雪雲が流れ込み、積雪となる所がある見込み。

平成22年12月31日から平成23年1月1日にかけての大雪

【気圧配置】



平成22年12月31日9時

【気象概況】

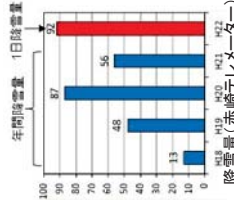
○ 平成22年12月31日は、日本海中部と関東の東海上の低気圧が北東に進み、平成23年1月1日にかけて、日本付近は強い冬の気圧配置となった。
 ○ この影響で、山陰から北日本にかけての日本海側を中心に大雪となった。

＜大雪のため、大規模な立ち往生が発生 約1,000台＞

- 平成22年12月31日から平成23年1月1日にかけて、北日本から西日本の広い範囲で降雪、山陰地方でも、鳥取県で1日の降雪量が年間の降雪量を上回る90cm近くの大雪となった。
- 国道9号でタンクローリーの立ち往生をきっかけに、約1,000台の大規模な立ち往生が発生。
- 車両の移動および通行止め解除に約2日を要した。



立ち往生の状況



降雪量(赤崎テレメーター)

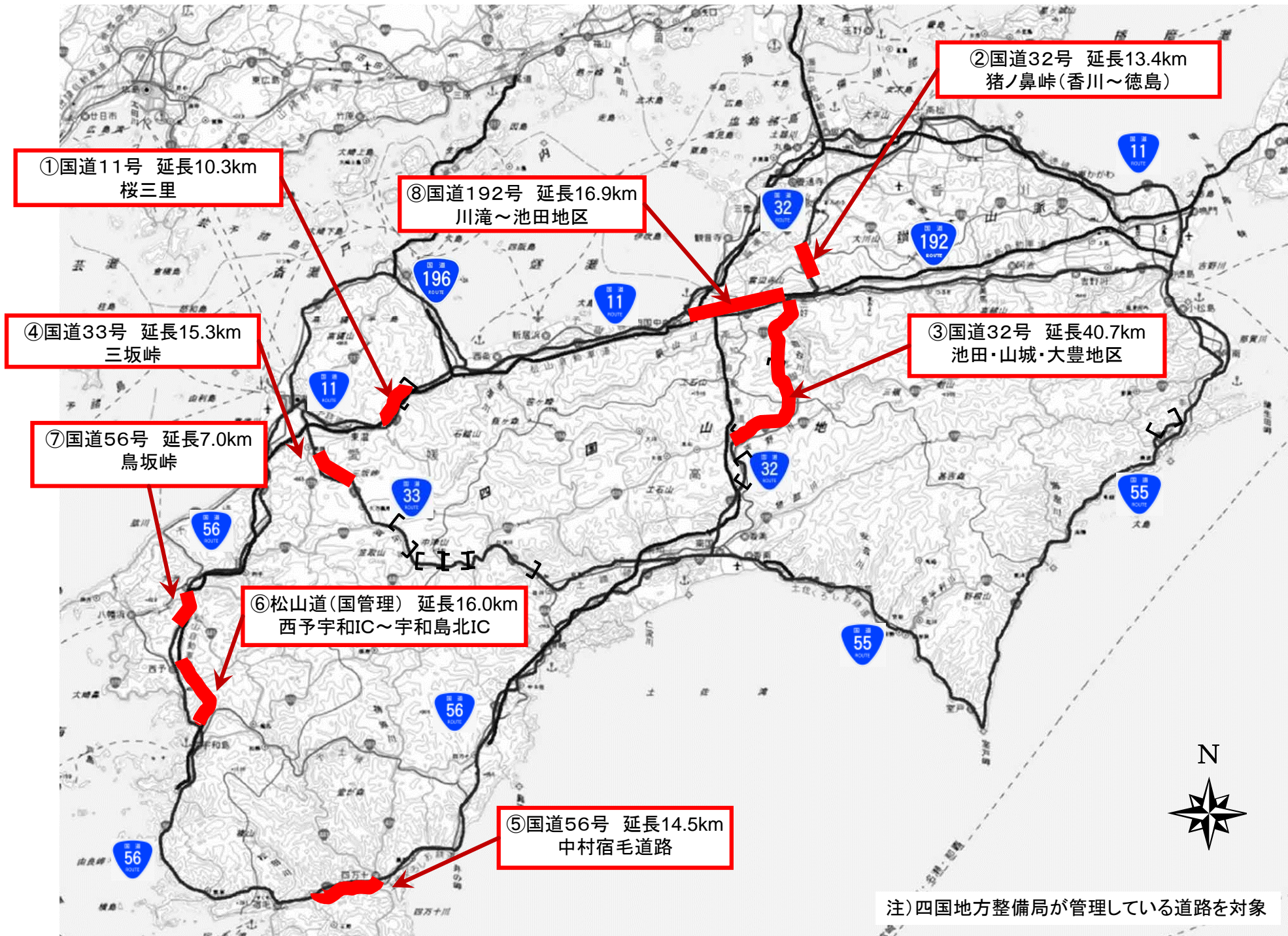


12月31日14:00頃～1月2日8:25 国道9号(大山町福屋～赤崎町八橋) 通行止めおよび車両の立ち往生 L=22km 約1,000台

緊急に設置した避難所

通行止め予定区間(位置図)

別添2



注) 四国地方整備局が管理している道路を対象